



人・街・ながた  
震災資料室だより

人・街・ながた  
震災資料室 発行  
〒653 神戸市長田区北町3-4-13  
電話(078)579-1231  
発行人/寿 広文  
編集人/武川・福谷

第 3 号

もくじ

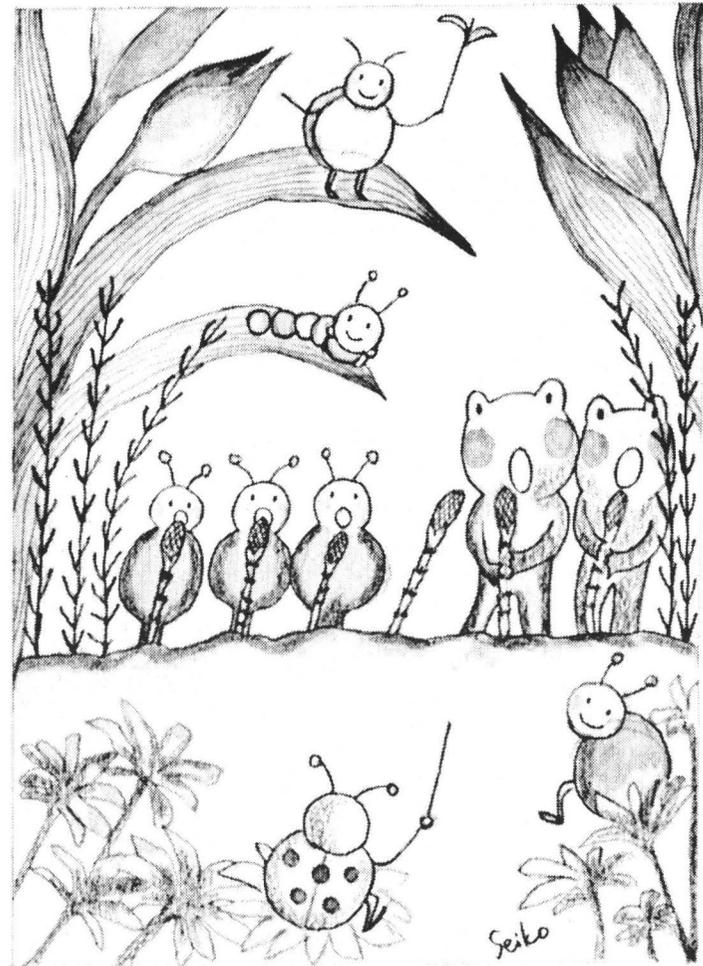
特集  
・第一回資料室展をみえま  
寄稿  
・資料室展を見て  
・2年後の真陽小学校で

2年後の真陽小学校で

自治労長野県飯山市職 川口惣子

私がボランティア参加したのは、震災後約1カ月半経った3月1日からだった。道はボロボロ、車窓から見える風景は傾いた建物が多く、平衡感覚を失いそうなくらいだった。正直なところ、『来たのは早まっ

たかなあ』と思ってしまった。避難所(真陽小学校)に着くと、子ども達は元気で、大人達も少しづつ働き始めていた。人間のたくましさを感じた。(大人には、『何かしていないとやり切れない』



え:内海豊子

という思いもあったことだろう・・・) 物資は、だいぶ足りていたように思う。ボランティア達による情報誌も出ていた。ただ、心へのケアが足りていない気がしてそんな所へ私が来て役に立つのだろうかと不安が頭をよぎったが、考えても始まらないので、できる限りのことをやろうと思っただけ努力した。今考えても、あれでよかったのかどうか疑問が残る。

あれから2年が経った。先日、久しぶりに訪れた神戸の避難所で、子ども達の様子がおかしい旨のお話しを伺い、震災は、2年たった今もお、心に深い傷を残しているように感じた。このことは、恐らく、子どもだけでなく、大人にも言えることだろう。一日も早く心から笑えるようになることを祈るばかりだ。

震災ボランティアは自分にとって、とてもよい勉強になった。役所の方々の動き、自治会の方々の動き、震災後すぐに確保しなければいけないものや、どういった指示が必要になるのか。2度と起きてほしくない災害だが、もしもの時は、今回の経験を生かしていかれたらと思う。何ができるかわからないが、自分にできることの協力は惜しまないつもりだ。人は皆一人では生きていけないものだから・・・。

神戸の方々には、一日も早く立ち直り、心も体も力強く生きてほしいと思います。

第一回資料室展をおえて

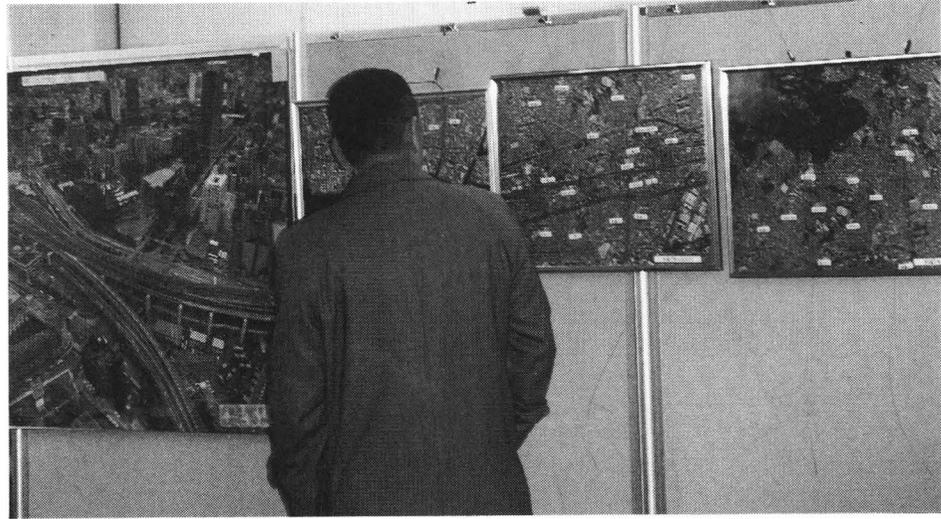


桜の花の便りも届き、復興のつちおとの響く長田の街を彩り始めました。第一回震災資料室展も無事おえることができました。資料の提供・整理等、ご協力ください。紙面を借り、お礼申し上げます。未整理等の理由で、残念ながら今回の資料展では展示できなかった資料がまだたくさんありますので、順次、公開していくようにしていきます。第二回資料室展は、平成九年秋頃に開催する予定です。引き続きの皆様のご協力を、お願いいたします。

資料室展の詳細は

次ページをご覧ください。

書家・上野賀山さんから  
「震災を越えて」の  
作品の提供がありました。



### 資料室展を見て

3月4日に、長田区総合庁舎7階の震災記録展示会にまいりました。スタッフの皆様



さんから復旧活動に従事の傍ら、鋭意資料の蒐集に努めているとは前々から聞いていました。が実物を目のあたりにして、あの混乱の毎日の中で、よくこれだけの記録を続け、しかも確実に保存しようとする関係者が力を尽くされている事に感動を覚えました。

その時その時の各避難所での人々の息遣いが、はっきりと聞き取れます。世話役さんやボランティアさんが、少しでも避難所の皆さんが、過ごし易いようにと、色々苦労された様子が手に取るようになります。また、放映されていた映像記録もひたすら事実だけを きめ細かく積み重ねている点、本当に立派だと思いました。

人は、本当の苦しみや悲しみに会った時には、みんな貝になってしまふ之ですね。現に、市民も職員も、未だに多くを語らずただ黙々と復旧復興に取り組んで来たのではないのでしょうか。それだけに、いっばうで震災関連の原始資料を出来るだけ多く確実に蒐集保管することは大切なことであり、また、その大切さを市民の皆様にも知って頂こうと開かれたであろうこの展示会が契機となつて、市民の皆様も重い口を少しづつ聞いて下さるのではないのでしょうか。

もちろん、いま情報化社会のなかにあつて長田区ではまちづくり推進課を中心に広く情報発信できる態勢が整いつつあると聞き及んでおります。原始資料の解析によりこの震災の真実の姿を正しく把握して、世界に、後世に、きちんと伝える努力が今後とも続けられるであろうと関係の皆様へ敬意を表します。

垂水区在住

嵯峨 千久馬



3月3・4・5日長田区役所7階大会議室において人・街・ながた震災資料室展が開催されました。

会場では、各方面からのご協力により提供いただきました写真、貼紙、刊行物等が展示され、また長田区内の被害状況等がひきだせるパソコンコーナーも設置されました。



なお、ご提供いただいた資料につきましては、資料室だよりにおいて少しずつ紹介していきたいと思えます。

#### == 震災資料室 資料リスト No.1 順不同 ==

- |  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・阪神・淡路大震災調査報告集</li> <li>・被災障害者訪問活動記録からの分析と提言</li> <li>・阪神・淡路大震災の記録</li> <li>・久ニ塚復興のあゆみ</li> <li>・長田区医師会の歩み-50周年記念震災特集号</li> <li>・その日、その後 保育所は</li> <li>・「それぞれの記録」発進・長田南</li> <li>・あの日から今日まで そして明日へ</li> <li>・ホームヘルパー奮戦記</li> <li>・阪神大震災-保健婦情報交換</li> <li>・長田保健所救護教護活動の記録</li> <li>・がんばる神戸-復興に向けて</li> <li>・M7.2の報告 その時、東灘消防署は</li> <li>・ボーイスカウトの阪神・淡路大震災</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>千葉工業大学</li> <li>全日本自治団体労働組合</li> <li>大阪府</li> <li>地区震災復興まちづくり協議</li> <li>長田区医師会</li> <li>長田区公立保育所</li> <li>長田南ブロック区域同推</li> <li>長田福祉事務所</li> <li>長田福祉事務所</li> <li>長田保健所</li> <li>長田保健所</li> <li>長野大学災害支援ボランティアの会</li> <li>東灘消防署</li> <li>日本ボーイスカウト兵庫連盟</li> </ul> |
|--|--|